

フレデリック・リンガー

イギリスのノーリッチの食料品店の息子として生まれたフレデリック・リンガーは、中国で茶葉の輸送で富を築くために兄の後を追った。1865 年、現在の九江で茶のとして鑑定士として勤務していたリンガーは、トーマス・B・グローバー(1838~1911 年)の招きで長崎での茶の取引を管理した。三年後、リンガーとイギリス人のエドワード・Z・ホルメ(1836-1909 年)は、グラバーの茶や他の製品の輸出を引き継ぐために、自分たちの会社、ホーム・リンガー商会を始めた。事業は急速に成長し、銀行、保険、海運、石炭、タバコ、海産物を含む様々な商品へと拡大した。ホーム・リンガー商会も中国と韓国に支店を開設し、ロシアとの貿易を拡大した。

リンガーは、電話、水道、機械化された製粉機、トロール漁業、ノルウェー式捕鯨など、西洋の技術を日本に紹介する手助けをした。1897 年には英字新聞の長崎新聞を創刊し、翌年には三階建ての豪華な建物で、電気、私設電話、フランス人シェフの監修によるレストランを兼ね備えた「長崎ホテル」 を設立した。

リンガーは病に倒れ、1907 年に長崎を離れ、妻とイギリスへ渡り、1907 年 9 月 29 日、故郷のノーウィッチで死去した。

採用番号 NO :	023-024
-----------	---------